

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の本製品以外の■電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
フル転送起動	1428
フル転送停止	1429
全転送停止	1430

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号/PINコードについて」(▶P.12)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

- ◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様の端末のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

- ◎ 発信者番号(お客様の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気をつけください。
- ◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
- ◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。

相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(ID Unsent)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Pay Phone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]

2 [通話サービス設定]→[発信者番号通知を許可]を「ON」にする

memo

- ◎ 電話をかけるときに「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知を許可」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
- ◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知を許可」をオンにしても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
- ◎ 「発信者番号通知を許可」をオフにしても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

- ◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- ◎ お留守番サービス(▶P.69)、着信転送サービス(▶P.68)、割込通話サービス(▶P.72)、三者通話サービス(▶P.72)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]

2 [通話サービス設定]→[番号通知リクエスト]→[番号通知リクエスト]を「ON」にする

memo

- ◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客様の電話番号を通知しておかけ直してください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・公衆電話、国際電話
 - ・SMS
 - ・その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]

2 [通話サービス設定]→[番号通知リクエスト]→[番号通知リクエスト]を「OFF」にする

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

■ お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.63)を有効に設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- ・本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されます。
- ・お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.69)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで ^{※1}
お預かりできる件数	99件まで ^{※2}
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。

※2 件数は伝言とボイスメール(▶P.70)の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわらず、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。 伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知(着信停止)の設定／解除、着信お知らせの開始／停止ができます。

1  →「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1]→[発信]

2 ガイダンスに従って操作

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話をお留守番サービスに転送します。

1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]

2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番]→[無応答転送]→[無応答転送]

3 [留守番]→[転送時間]→転送時間を設定→[OK]

- ・転送時間は5秒～55秒の間で設定できます。
- ・「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

4 [OK]



memo

◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]

2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番]→[話中転送]→[話中転送]

3 [留守番]

- ・「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

4 [OK]



memo

◎ 話中転送と割込通話サービス(▶P.72)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときなどに、電話をお留守番サービスに転送します。

1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]

2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番]→[圏外転送]→[圏外転送]

3 [留守番]

- ・「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

4 [OK]

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]

2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番]→[フル転送]→[フル転送]

3 [留守番]

- ・「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

4 [OK]



memo

◎ フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

- ・かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します(▶P.71「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)。
- ・電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作 2 に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、操作 3 へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のボタン操作ができます。

「1」: 録音した伝言を再生して、内容を確認する

「2」: 録音した伝言を「至急扱い」にする

「9」: 録音した伝言を消去して、取り消す

「✕」: 録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る



memo

◎ 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。

◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方が■電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1  →「ダイヤル」タブをタップ→[1][6][1][2]+相手の方の■電話番号を入力→[発信]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。

memo

- ◎ 同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
- ◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

- 1 → 「ダイヤル」タブをタップ → [1][4][1][7] → [発信]
ホーム画面 → [電話] → [メニュー] → [通話設定] → [通話サービス設定] → [着信転送・お留守番] → [伝言メッセージ再生] → [OK] と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
- 2 **ガイダンスに従ってボタン操作**
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。
「1」: 同じ伝言をもう一度聞く
「4」: 5秒間巻き戻して聞き直す
「5」: 伝言を一時停止(20秒間)*
「6」: 5秒間早送りして聞く
「7」: 再生済みの伝言をすべて消去
「9」: 伝言を消去
「0」: 伝言再生中の操作方法を聞く
「#」: 次の伝言を聞く
「★」: 前の伝言を聞く
※ / 「電話を切る」以外のボタンをタップすると、伝言の再生を再開します。
- 3 / 「電話を切る」

memo

- ◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.70)も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容の確認／変更や、スキップ防止などの設定を行うことができます。

- 1 ホーム画面 → [電話] → [メニュー] → [通話設定]
 - 2 [通話サービス設定] → [着信転送・お留守番] → [応答内容変更] → [OK]
 → 「ダイヤル」タブをタップ → [1][4][1][4] → [発信] と操作しても設定できます。
- すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)
- 3 [1] → [1] → 3分以内で応答メッセージを録音 → [#] → [#]
→ / 「電話を切る」
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。
- 電話番号の代わりに読み上げるお客様のお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)
- 3 [1] → [2] → 10秒以内で名前を録音 → [#] → [#] → / 「電話を切る」
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。
- 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合
- 3 [3] → 応答メッセージを確認 → / 「電話を切る」
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。
- 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)
- 3 [1] → [3] → 3分以内で応答メッセージを録音 → [#] → [#]
→ / 「電話を切る」
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。

memo

- ◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- ◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないように設定することができます。
- ◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って[2] → [1] と操作すると標準メッセージに戻すことができます。
- ◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って[1] → [4] と操作すると標準メッセージに戻すことができます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。

あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておく、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。

詳しくは、「応答メッセージの録音／確認／変更をする」(▶P.71)をご参照ください。

- 1 → 「ダイヤル」タブをタップ → [1][6][1][0] → [発信]
- 2 **ガイダンスを確認** → / 「電話を切る」

memo

- ◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- ◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

伝言の蓄積停止を解除する

- 1 → 「ダイヤル」タブをタップ → [1][6][1][1] → [発信]
- 2 **ガイダンスを確認** → / 「電話を切る」

memo

- ◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の本製品以外の■電話、他通信事業者の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

- 1 **090-4444-XXXXに電話をかける**
上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定(フル転送)開始	1418
留守番転送設定(フル転送)停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

- 2 **ご利用の本製品の電話番号を入力**

- 3 **暗証番号(4桁)を入力**

暗証番号については「各種暗証番号／PINコードについて」(▶P.12)をご参照ください。

- 4 **ガイダンスに従って操作**

memo

- ◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイドンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

- 1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]
- 2 [通話サービス設定]→[ガイドンスの言語]→[英語ガイドンス]→[OK]
英語ガイドンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。
☎→[ダイヤル]タブをタップ→[1][4][1][9][1]→[発信]と操作しても切り替えることができます。

memo

◎ ご契約時は、日本語ガイドンスに設定されています。

日本語ガイドンスへ切り替える

- 1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]
- 2 [通話サービス設定]→[ガイドンスの言語]→[日本語ガイドンス]→[OK]
日本語ガイドンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。
☎→[ダイヤル]タブをタップ→[1][4][1][9][0]→[発信]と操作しても切り替えることができます。

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例:Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

- 1 Aさんと通話中の電話画面→[通話相手を追加]→Bさんの電話番号を入力
通話中に電話帳や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。
- 2 [発信]
通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさん呼び出します。
- 3 Bさんと通話
Bさんが電話に出ないときは☎を押す／「電話を切る」をタップするとAさんとの通話に戻ります。
Bさんとの通話を保留にしてAさんとの通話に戻るには、「この通話に切り替える」をタップします。
- 4 [結合]
3人で通話できます。
☎を押す／「電話を切る」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎ 三者通話の2人目の相手の方として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であつた場合には、割り込みはできません。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、修理からのご返却時または■ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

- 1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]
- 2 [通話サービス設定]→[割込通話]
- 3 「割込通話」を「ON」にする
☎→[ダイヤル]タブをタップ→[1][4][5][1]→[発信]と操作しても開始できます。

memo

◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.69)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

- 1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]
- 2 [通話サービス設定]→[割込通話]
- 3 「割込通話」を「OFF」にする
☎→[ダイヤル]タブをタップ→[1][4][5][0]→[発信]と操作しても停止できます。

割込通話を受ける

例:Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

- 1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる
- 2 着信画面→[📞]を右にスライド
Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「この通話に切り替える」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。

memo

◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

- 1 →「ダイヤル」タブをタップ→[1][3][1]+相手先電話番号を入力→[発信]
- 2 ／「電話を切る」



memo

- ◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- ◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
-------	----

海外利用

海外利用	76
■世界サービスについて	76
海外利用に関する設定を行う	76
海外でVoLTEを利用する	76
渡航先で電話をかける.....	76
渡航先で電話を受ける.....	76
お問い合わせ方法	76
海外でのご利用上のご注意.....	77

海外利用

世界サービスについて

世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM/UMTS/LTEネットワークのいずれでもご利用いただけます。

- ・いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
- ・特別な申し込み手続きや月額料の定額料は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。
 - ※ 新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で通話(発信)した翌々日よりご利用が可能です。
- ・ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、 ホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

対象エリア・料金を知る



海外でのデータ通信ご利用方法と適用データ通信料金について



海外でご利用のお客さま

渡航前に必ずご確認ください。





memo

- ◎ 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- ◎ 海外で着信した場合でも着信通話料がかかります。
- ◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
- ◎ 各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

- ・海外で電源をオンにすると、海外の事業者のネットワークで通話とSMS がご利用いただけます。
- ・データ通信を行う場合は「ローミング」(▶P.76)を有効に設定します。

データ通信を利用する

1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[ネットワークとインターネット]→[モバイルネットワーク]→[海外ローミング]

2 「ローミング」を「ON」にする



memo

- ◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。
- ◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細は、 ホームページにてご確認ください。
 - 世界データ定額
 - 
 - 海外ダブル定額
 - 

海外でVoLTEを利用する

海外でVoLTEを利用できるように設定します。

1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[ネットワークとインターネット]→[モバイルネットワーク]→[海外ローミング]

2 「4Gを有効にする」を「ON」にする

※ お買い上げ時はONになっています。



memo

- ◎ LTE NETにご加入されていない場合は、VoLTEを利用できません。
- ◎ VoLTEが利用できる国・地域については、 ホームページをご参照ください。
- ◎ 海外で通話やデータ通信の品質がよくない場合は、「4Gを有効にする」を「OFF」にすると改善されることがあります。ただし、日本国内では「4Gを有効にする」を常時「ON」で利用してください。
- ◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細は、 ホームページにてご確認ください。
 - 

渡航先で電話をかける

 世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

1  →「ダイヤル」タブをタップ

2 [メニュー]→[(+)付加]

「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 相手の国番号を入力

4 地域番号(市外局番)を入力

地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

5 相手の電話番号を入力→[発信]

例: 渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合

+ 81 (国番号) 3 (市外局番) 1234XXXX (相手の電話番号)

例: 渡航先(アメリカ)からアメリカの「123-456-XXXX」にかける場合

+ 1 (国番号) 123 (市外局番) 456XXXX (相手の電話番号)



memo

- ◎ 電話をかける相手が日本の携帯電話の場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。
- ◎ 渡航先では、一部特番などかけられない電話番号があります。
- ◎ 国番号については、 をご参照ください。
 - 

渡航先で電話を受ける

日本国内にいたるときと同様の操作で、電話を受けることができます。



memo

- ◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からであっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかります、着信側には着信通話料がかかります。
- ◎ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいたるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
- ◎ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、現地からの国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

受付時間: 24時間

1  →「ダイヤル」タブをタップ

2 [メニュー]→[(+)付加]

「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 「81366706944」を入力→[発信]

■ 一般電話からのお問い合わせ方法

詳しい情報は、 ホームページの「海外からのお問い合わせ番号」をご参照ください。





memo

- ◎ 渡航先でご利用いただけない場合、au 電話の電源をオフ/オン(再起動)することでご利用可能となる場合があります。

■ 本製品を盗難・紛失したら

- ・海外で本製品もしくは■ IC カードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは「海外からのお問い合わせ」(▶P.76)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- ・本製品に挿入されている■ IC カードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIM カードロックを設定されることをおすすめします。SIM カードロックについては「SIM カードロックを設定する」(▶P.64)をご参照ください。

■ ネットワークサービスに関するご注意

- ・以下のサービスは、■ 世界サービス「VoLTE」利用中以外にご利用いただけません。
 - ・着信転送サービス(標準サービス)の無応答転送・話中転送・圏外転送
 - ・お留守番サービスEX(オプションサービス)
 - ・三者通話サービス(オプションサービス)*
 - ・割込通話サービス(オプションサービス)
 - ・通話明細分計サービス(オプションサービス)
 - ・発信番号表示サービス(標準サービス)は、海外では電話番号が通知されない場合があります。海外では「発信者番号通知」の機能は無効になります。
 - ・番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
 - ・渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- *■ 世界サービス「VoLTE」利用中であっても、グアム、サイパンではご利用いただけません。

付録.....	80
ソフトウェアを更新する.....	80
故障とお考えになる前に.....	80
アフターサービスについて.....	81
■スマートサポート.....	81
遠隔操作サポート.....	81
位置検索サポート.....	81
SIMロック解除.....	82
周辺機器.....	82
イヤホンを使用する.....	82
主な仕様.....	82
携帯電話機の比吸収率(SAR)について.....	83
FCC Notice.....	83
輸出管理規制.....	83
知的財産権について.....	84

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新が必要な場合、本製品では自動的に最新ソフトウェアを取得し、深夜時間帯(AM 2:00～AM 4:00)に更新を実施する場合がございます。お客様により快適に本製品をご使用いただくため、ご購入後も機能・操作性・セキュリティの向上を目的として、定期的にソフトウェアの更新による品質向上を行っております。

ご利用上の注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、**■** ホームページなどお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、**■** ショップもしくはお客様センター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に**■** からのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、**■** ショップもしくは **■** (一部ショップを除く)にお持ちください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客様センター)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

お客様のご都合に合わせてソフトウェア更新が必要な場合は、以下の操作をいただくことで、最新のソフトウェアの有無の確認や更新をすることができます。ソフトウェアの更新を行わない場合は、インターネット上のウイルスなどに感染する危険が高まったり、機能の改善や不具合の修正が反映されないままとなりますため、常に最新のソフトウェアにしてご使用ください。

1 ホーム画面→[設定]→[ソフトウェア更新]

以降は、画面の指示に従って操作してください。

memo

- ◎ 回線の状態によっては、Wi-Fiからモバイル通信に切り替わることがあるため、利用可能なネットワークを自動検索するために、ご契約内容によっては通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ◎ ソフトウェア更新/OSアップデート後に元のバージョンに戻すことはできません。
- ◎ ソフトウェア更新後、再起動が行われます。編集中のデータが失われる場合がありますのでご注意ください。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認いただくとともに「故障紛失サポート」アプリ(▶P.47)の「クイック診断」および「トラブル診断」でご確認ください。

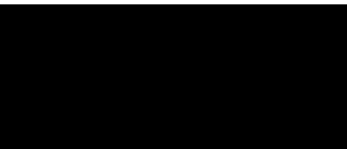
■ クイック診断

ホーム画面→[サポート]→[故障紛失サポート]→[クイック診断してみる]

■ トラブル診断

ホーム画面→[サポート]→[故障紛失サポート]→[便利な機能]→[トラブル診断を試す]

以下の**■** ホームページからもご確認ください。



こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	P.18
	⏻ (電源ボタン)を画面が点灯するまで長く押していますか？	P.19
充電ができない	指定の充電用機器(別売)は正しく接続されていますか？	P.18
	本体または電池温度が高温または低温になっていますか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.18
	指定の周辺機器(アダプタなど)で充電をしていますか？	P.18
	卓上ホルダや外部接続端子などが汚れていませんか？	P.18
操作できない/画面が動かない/電源が切れない	⏻ (電源ボタン)と 🔊 (音量上ボタン)を同時に11秒以上長く押すと強制的に電源を切り再起動することができます。	P.19
電源が勝手に切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.18
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.18

こんなときは	ご確認ください	参照
電話がかかけられない	電源は入っていますか？	P.19
	■ ICカードが挿入されていますか？	P.17
	電話番号が間違っていないですか？ (市外局番から入力していますか？)	P.30
	電話番号入力後、「発信」をタップしていますか？	P.30
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.63
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.23
	サービスエリア外にいませんか？	P.23
	電源は入っていますか？	P.19
	■ ICカードが挿入されていますか？	P.17
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.31
「 ■ 」(圏外)が表示される	「機内モード」が設定されていませんか？	P.63
	「着信転送サービス」が設定されていませんか？	P.68
	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.23
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.16
	■ ICカード以外のカードが挿入されていませんか？	P.17
Wi-Fi®がつかない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	P.23
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.59
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	—
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.63
ディスプレイ/ 🔊 (電話ボタン)ランプは点灯/点滅するが着信音が鳴らない	「着信音・通知の音量」が最小に設定されていませんか？	P.64
	マナーモードに設定されていませんか？	P.24
	電源は入っていますか？	P.19
ボタン/タッチパネルの操作ができない	スタート画面のセキュリティが設定されていませんか？	P.64
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.19
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.22
充電をする旨のメッセージが表示された	電池残量がほとんどありません。	P.18
電話が勝手に応答する	「伝言メモ」が設定されていませんか？	P.31
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ ・赤色の充電ランプが緑色に変わるまで、充電してください。	P.18
	内蔵電池が寿命となっていませんか？	P.10
	「 ■ 」(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.23
電話をかけたときに受話口(レシーバー)から「ブーツ、ブーツ、ブーツ…」と音がしてつかない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.23
	回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのをおかけ直しください。	—
ディスプレイの照明がすぐに消える	「画面消灯」が短く設定されていませんか？	P.63
画面照明が暗い	「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか？	P.63
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。	—
相手の方の声が聞こえない/聞き取りにくい	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.30
	受話口(レシーバー)が耳に当たるようにしてください。	P.16
イヤホンマイクのマイクが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか？ イヤホンマイク端子の奥までしっかり挿入してください。	P.82
動作が遅くなった/アプリの動作が不安定になった/一部のアプリを起動できない	メモリの空き容量がなくなると動作が安定しません。空き容量が少なくなったら、不要なアプリを削除してメモリの空き容量を確保してください。	P.23
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、電話帳の着信設定は有効になりません。また、電話帳のグループ着信設定は有効になりません。	—
	同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？	P.32
	microSDメモリカードを認識しない	P.54
カメラが動作しない	microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？	P.54
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.54
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていないですか？	P.18
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	P.18
緊急通報ができない	指定の ■ ICカードが挿入されていますか？	P.17
	指定の ■ ICカード以外のカードをご利用になっていませんか？	—
	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.23

アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いの■の端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、■アフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リパースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 本体内蔵の電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。
- ◎ 卓上ホルダなどの付属品は無償修理保証の対象外です。

補修用性能部品について

当社は■およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

無償修理規定

- 修理受付時は、製造番号（IMEI番号）の情報をお知らせください。製造番号（IMEI番号）は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
 - 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
 - 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。（または、修理ができない場合があります。）
 - ①取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - ②不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - ③当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - ④使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - ⑤地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
 - 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
 - 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
 - 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
 - 出張による修理対応はお受けできません。
 - 本規定は、日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）
- ※ 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

故障紛失サポートについて

■の端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。

月額利用料およびサービスの詳細については、■ ホームページをご確認ください。

memo

- ◎ ご入会は、■の端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回の■の端末のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるauの端末のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ ■の端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しい■の端末をご購入いただいた場合、以前にご利用の■の端末に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

ICカードについて

■ ICカードは、■からお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、■までお問い合わせください。

スマートサポート

スマートサポートでできること

24時間365日体制^{*1}の■スマートサポートセンターによる電話サポートでは、「遠隔操作サポート（リモートサポート）」のアプリを利用して、遠隔操作によるサポートサービスを利用することができます。

その他、初期設定・基本操作や人気アプリの利用方法を、ご自宅^{*2}に訪問し丁寧に説明する「スマホ訪問サポート（別途有料）」や、初心者の方にも分かりやすい「使い方ガイド本^{*3}」プレゼントなど、安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

ご利用にはお申し込みが必要です。ご利用料金や詳細については、■ ホームページでご確認ください。

※1 22時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。

※2 訪問先はお客様のご契約住所に限りです。

※3 本のプレゼントは一回限りとなります。

memo

- ◎ 「遠隔操作サポート」のご利用にあたっては、「遠隔操作サポートを利用する」（▶P.81）をあわせてご参照ください。

遠隔操作サポート

スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

※ ご利用にあたっては、■スマートサポートまたは■スマートパス ■スマートパスプレミアム、故障紛失サポートのいずれかへの加入が必要です。

遠隔操作サポートを利用する

1 お客さまセンター、■スマートサポートセンターまでお問い合わせ

■スマートパス会員は局番なしの157番（■電話から／通話料無料）、
■0077-7-111（一般電話から／通話料無料）までご連絡ください。

■スマートサポート会員は、■スマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 ホーム画面→[サポート]→[遠隔操作サポート]

初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

位置検索サポート

本製品を盗難・紛失された場合、お客さまセンターやお客様のパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックをすることができます。

※ 本製品を遠隔操作で位置検索、ロックする場合は、■スマートサポートまたはauスマートパス、■スマートパスプレミアムのいずれかへの加入が必要です。

memo

- ◎ ご利用の際には「デバイス管理アプリ」で「My ■」を有効にしてください。無効の場合は、ロックが正常に動作しません。
- ◎ My ■のアプリ上で位置情報へのアクセスなどの確認ダイアログが表示される場合には、「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供した基地局から推測される位置情報およびGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご利用上の注意

- ・ My ■に本製品の位置情報へのアクセス許可がされていない場合は、GPS情報による位置検索をご利用いただけません。
- ・ サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。

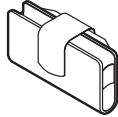
SIMロック解除

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ・SIMロック解除は、**■**ホームページ、**■**ショップで受付しております。
- ・他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ・詳しくは、**■**ホームページをご参照ください。

周辺機器

- 卓上ホルダ(KYV47PUA)
- TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA)(別売)
- TypeC共通ACアダプタ02(0602PQA)(別売)
- MicroB-TypeC変換アダプタ(0601PHA)(別売)
- 共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)*
- テレビde写真受信機(0603RKA)(別売)
- **■**キャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)



* ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ(別売)が必要です。



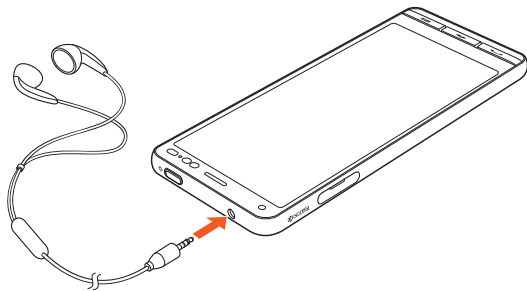
memo

◎ 周辺機器は、**■**オンラインショップでご購入いただけます。

イヤホンを使用する

イヤホン(市販品)、イヤホンマイク(市販品)、ステレオイヤホンマイク(市販品)を接続して使用します。

- 1 イヤホンマイク端子にイヤホン(市販品)を接続



memo

◎ イヤホン/イヤホンマイク/ステレオイヤホンマイク(市販品)の種類によっては使用できない場合があります。

主な仕様

■ 本体

ディスプレイ	約5.6インチ、約1.677万色、有機EL
	1,480×720ドット(HD+)
質量	約151g
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約71×159×8.9mm
内蔵メモリ容量 ^{*1}	ROM:約32GB RAM:約3GB
連続通話時間	国内 約1480分 海外(GSM) 約850分
連続待受時間	国内 約560時間 海外(GSM) 約680時間
連続デザリング時間	約780分
Wi-Fi [®] デザリング最大接続数	10台
充電時間(目安)	TypeC共通ACアダプタ02(別売) 約180分 ^{*2}
カメラ撮像素子	CMOS
アウトカメラ有効画素数	約1,300万画素
インカメラ有効画素数	約500万画素
無線LAN(Wi-Fi [®])機能	IEEE802.11 a/b/g/n/ac準拠
Bluetooth [®] 機能	対応バージョン Bluetooth [®] 標準規格Ver.5.0準拠 ^{*3}
	出力 Bluetooth [®] 標準規格Class 1
	通信距離 ^{*4} 見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル・機能 ^{*5} GATT(Generic Attribute Profile) SPP(Serial Port Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) HID(Human Interface Device Profile) PAN(Personal Area Networking Profile) PAN-NAP(Personal Area Networking-Network Access Point) PAN USER(Personal Area Networking-User) HOGP(HID over GATT Profile) apt-X Bluetooth SSP MAP(Message Access Profile) AAC LDAC DUN(Dial-Up Networking Profile) ^{*6}
使用周波数帯	2.4GHz帯

- *1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。
- *2 卓上ホルダに接続して使用したときは充電時間が長くなる場合があります。
- *3 本製品およびすべてのBluetooth[®]機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth[®]標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- *4 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
- *5 Bluetooth[®]機器どうしの使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth[®]標準規格で定められています。
- *6 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、**■**ホームページをご参照ください。

■ 卓上ホルダ(KYV47PUA)

質量	約77g
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約162×39×48mm



memo

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種CB70の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は 2.0 W/kg です。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は 1.6 W/kg ^(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は 0.4 W/kg ^(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/emf>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ
<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ
<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
- [\[REDACTED\]](#)

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



Google, Google ロゴ, Android, Android ロゴ, Google Play, Google Play ロゴ, Playミュージック, Playミュージック ロゴ, Playムービー, Playムービー ロゴ, Gmail, Gmail ロゴ, Google マップ, Google マップ ロゴ, Googleドライブ, Googleドライブ ロゴ, Googleマップナビ, Googleマップナビ ロゴ, Google Chrome, Google Chrome ロゴ, Google 音声検索, Google 音声検索 ロゴ, YouTube および YouTube ロゴは、Google LLC の商標または登録商標です。

Microsoft®, Windows®およびWindows® 7/Windows® 8.1/Windows® 10は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®, Microsoft® Excel®, Microsoft® PowerPoint®, Windows Media®, Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

Microsoft® Word, Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD, microSDHC, microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

WiMAXは、WiMAXフォーラムの商標です。

Wi-Fi®, WPA®, WPA2®, WPA3®, Wi-Fi CERTIFIED ロゴ, Wi-Fi Direct®はWi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™はWi-Fi Allianceの商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

Twitter, TwitterロゴはTwitter, Inc. の商標または登録商標です。

Instagramは米国およびその他の国におけるInstagram, LLCの商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnn IMEを使用しています。iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2019 All Rights Reserved.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

- (1) ACCESS, ACCESSロゴ, NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- (2) 本製品の一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

「おうちモード」は京セラ株式会社の登録商標です。

書体切り替えには、株式会社リムコーポレーションの「もじチェン」を使用しています。「もじチェン」は株式会社リムコーポレーションの登録商標です。本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。本製品には、株式会社モリサワの書体を搭載しています。

本製品には赤外線通信機能としてイーグローバレッジ株式会社のDeepCore® 3.0Plus for Androidを搭載しています。Copyright© 2012 E-Globaledge Corp. All Rights Reserved.

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

HDR(High Dynamic Range)技術には「Morpho HDR」を採用しています。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。

USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

Amazon, Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。

その他本文中に記載されている社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ OpenSSL License

[OpenSSL License]

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SSLeay License]

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点にご注意ください。

- (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
- (b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。

- (c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。

ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。

なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「デバイス情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。

本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客様は京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■ 診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では、製品とサービスの品質の向上のために、お客様のご協力をお願いしています。京セラ株式会社は、予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し、品質とサービス向上を目的として、お客様の端末の故障診断および使用状況データ(お客様によるアプリケーションの使用状況情報、エラーに関するログ情報、およびお客様によるアプリケーションの使用に関する詳細情報(特定の機能、使用頻度、メモリ/電池の使用状況))を端末内に記録、保存しております。これらの情報はお客様より端末の修理依頼があった際に、お客様の同意のうえ収集することがあります。

索引.....	86
---------	----

索引

記号／数字／アルファベット

+メッセージ(SMS).....	37
グループ.....	37
公式アカウントを登録.....	37
作成.....	37
設定.....	37
送信.....	37
ブロックリスト.....	38
利用方法の確認.....	37
連絡先を登録.....	37
■ICカード.....	17
取り付け.....	17
取り外し.....	17
■ID.....	20
■国際電話サービス.....	31
■スマートサポート.....	81
■世界サービス.....	76
お問い合わせ方法.....	76
データ通信.....	76
■設定メニュー.....	62
■のネットワークサービス.....	67
英語ガイダンス.....	72
遠隔操作サービス.....	69, 71
応答メッセージ.....	71
お留守番サービスEX.....	69
お留守番サービス総合案内.....	70
圏外転送.....	68
三者通話サービス.....	72
蓄積停止.....	71
着信お知らせサービス.....	68
着信転送サービス.....	68
通話明細分計サービス.....	73
伝言お知らせ.....	71
伝言録音.....	70
日本語ガイダンス.....	72
発信番号表示サービス.....	69
番号通知リクエストサービス.....	69
フル転送.....	68
ボイスメール.....	70
無応答転送.....	68
留守伝言再生.....	71
話中転送.....	68
割込通話応答.....	72
割込通話サービス.....	72
■メール.....	36
迷惑メールフィルター.....	36
Bluetooth®機能.....	58
機器登録.....	58
起動.....	58
注意.....	12
データの送受信.....	59
パスキー.....	58
ペアリング.....	58
Duo.....	48
Files.....	55
Gmail.....	38
更新.....	38
作成.....	38
受信.....	38
送信.....	38
転送.....	38
返信.....	38
メニュー.....	38
Google.....	65
Google Lens.....	45
Google Play.....	48
Googleアカウント.....	20
Googleマップ.....	48
道案内.....	48
iWnn IME.....	27
キー操作音.....	27
キー操作パイプ.....	27
キーボードタイプ.....	27
キーポップアップ.....	27
候補表示行数.....	27
自動カーソル移動.....	27
トグル入力.....	27
microSDメモ리카ード.....	54
初期化.....	55
取り付け.....	54
取り外し.....	54
My ■.....	47
PINコード.....	12
変更.....	64
PINロック解除コード.....	12
Playムービー&TV.....	46

radiko+FM.....	46
SAR.....	83
SIMロック解除.....	82
USB Type-Cケーブル(市販品)	
接続.....	55
VPN設定.....	63
Wi-Fi®.....	59
起動.....	59
接続.....	59
切断.....	59
注意.....	12
ネットワークを追加.....	59
Wi-Fi Direct®.....	60
YouTube.....	48

あ

アカウント.....	65
アカウントを削除.....	65
アカウントを追加.....	65
同期.....	65
あとから録音.....	31
アフターサービス.....	81
アプリ権限設定.....	13
アラーム.....	49
繰り返し.....	49
設定.....	49
暗証番号.....	12
あんしんフィルター for ■.....	47
安全上のご注意.....	6
位置情報の設定.....	64
印刷.....	63
インターネット.....	40
クイックメニュー.....	41
再読み込み.....	40
設定.....	40
ブックマーク.....	41
メニュー.....	40
履歴.....	41
引用入力(プラグイン).....	26
おうちモード.....	19
お知らせ通知.....	50
音と通知の設定	
音量調節.....	64
操作音.....	64
着信音.....	64
マナーモード.....	24
音の設定.....	64
音声レコーダー.....	51
音量.....	64

か

海外利用.....	76
お問い合わせ方法.....	76
海外ローミング.....	76
各部の名称と機能.....	16
カメラ	
画面の見かた.....	45
静止画撮影.....	46
設定.....	45
動画撮影.....	46
画面メモ.....	24
カレンダー.....	49
作成.....	49
メニュー.....	49
聞こえ調整.....	30
機内モード.....	63
基本操作.....	22
救急あんしん情報.....	32
携帯電話機の比吸収率(SAR).....	83
言語と入力.....	65
故障とお考えになる前に.....	80
故障紛失サポート.....	81

さ

自宅deスマホ教室.....	46
自分の電話番号.....	32
充電.....	18
周辺機器.....	82
仕様.....	82
ズームイン／ズームアウト.....	22
スクリーンショット.....	24
スタート画面.....	20
ステータスアイコン.....	23
ステータスバー.....	23
ステップアップ着信.....	31
ストレージ.....	55
ストレージの設定.....	64
スマホの健康診断.....	51

スライド	22
スリープモード	20
設定メニュー	23
その他の設定メニュー	62
ソフトウェア更新	80
ご利用上の注意	80
ダウンロード	80

た

ダイレクトボタン	25
タッチパネル	22
タップ	22
ダブルタップ	22
端末情報	66
着信中のメニュー	31
通知アイコン	23
通知パネル	24
通話履歴	30
使い方ナビ	44
使い方練習	52
ディスプレイの設定	63
明るさ	63
自動回転	22
データ通信	40
注意	12
データの初期化	66
データ表示	46
テザリング	60
Bluetooth®テザリング	60
USBテザリング	60
Wi-Fi®テザリング	60
テレビde写真	51
電源を入れる	19
電源を切る	19
伝言メモ	31
電卓	50
電話	29
SMSで返信	31
受ける	31
かける	30
伝言メモに録音	31
電話帳	32
インポート	33
エクスポート	33
グループ	33
削除	33
作成	32
電話をかける	32
登録	32
編集	33
時計	49
設定	49
ドラッグ	22
取り扱い上のご注意	9

は

パーソナルスクリーンfor ■■■	22
表記方法	1
フリック	22
プロフィール	32
防塵	10
防水	10
歩数計	50
歩数計通知	50
保存領域	54

ま

マップ	48
マナーモード	24
無線とネットワーク	62
メール	
+メッセージ(SMS)	37
■■■メール	36
Gmail	38
文字入力	25
英語/その他ユーザー辞書	27
絵文字入力	26
顔文字入力	26
記号入力	26
切り取り	26
コピー	26
日本語ユーザー辞書	27
貼り付け	26
フリック感度	27
フリック入力	27

や

ユーザー補助	65
予測変換	27

ら

ライト	51
ロングタッチ	22

わ

ワンタッチボタン	25
----------------	----